

令和4年1月6日
市川市教育委員会

新型コロナウイルスに対する3学期以降の対応について

昨年の9月以降、減少傾向が続いていた新型コロナウイルスですが、年末から増加傾向に転じています。今後は、オミクロン株の影響などもあり、急激な感染拡大が起きるとの報道もあります。

3学期の教育活動につきましては、しばらくは感染対策を一部緩和した「[コロナ禍における今後の教育活動について](#)」(令和3年12月7日更新)に基づき実施いたしますが、感染状況が悪化した際には「[新たな学校生活スタイルガイドライン](#)」(令和3年9月13日更新)に戻して対応いたします。

また、感染拡大時の対応につきましては、今後オミクロン株に置き換わったとしても、「[新型コロナウイルス感染症対策に関する基本的な考え方](#)」(令和3年11月5日更新)にお示した通り、本市におきましては、休校や短縮日課、登校人数を減らすような分散登校などを市内全ての学校に対して一律に実施することはありません。あくまでも、感染者が確認された学校に対して、学級閉鎖や学年閉鎖、休校等により対応することといたします。

ただし、オミクロン株はこれまでの株と比べて感染力が高いとも言われています。今後、今まで本市では確認されていなかった学校内で子どもから子どもへの感染が見られるなど、現在の感染対策では学校内での感染拡大を抑えることが困難と判断した際には、学級閉鎖等の判断基準の見直しや、状況によっては、ブロック内や市内一斉の休校、学級・学年別登校などを講じていくことも想定しています。(特別支援学校については、教育委員会と学校が協議し、児童生徒の実態や特性に応じた対応となります)

変異株であっても、三密(密集、密接、密閉)の回避や、黙食、換気、マスクの適切な着用、手洗いなどが有効とされていますので、引き続き警戒を高め、対策を徹底してまいります。

なお、冬場の換気対策を強化するために、全小中学校、義務教育学校、特別支援学校の全ての普通教室へ、外気循環のためのサーキュレーター、および、空気の滞留予防のための二酸化炭素濃度測定器を配置しました。また、十分な換気をすることが困難な保健室や音楽室などを想定し、各学校に4台ずつの空気清浄機を配置します。

教室では換気のために窓を開けておりますので、お子様には適切な防寒対策を講じていただきますようお願いいたします。